

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

（メール）tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

CTG とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる（〒60円）

109 首都圏トラック部会 東京 埼玉 トラックの日行動開催

「10月9日は『トラックの日』

ました。

なくせ交通事故災害・過労運転！

大型トラックドライバーを中心に

安全運転のために健康チェックを！

に、アンケートとグッズを一緒に

をテーマに、首都圏トラック部会

手渡しし、42枚を集約しました。

（東京・埼玉）は医療生協さいたまの皆さんと一緒に、大宮トラックステーションで建交労の宣伝やアンケート調査、健康チェックなどを開催しました。医療生協さいたま4名、新聞記者3名、建交労首都圏トラック部会（東京6名、埼玉6名）、合計19名が参加し

まの皆さんと一緒に、大宮トラックステーションで建交労の宣伝やアンケート調査、健康チェックなどを開催しました。医療生協さいたま4名、新聞記者3名、建交労首都圏トラック部会（東京6名、埼玉6名）、合計19名が参加し

「風邪を引いても休めない」「荷待ち時間がある」など、ドライバーが抱える切実な労働実態を聞くことが出来ました。医療生協さいたまの保健師さんには、血圧測定、身体測定などを行って頂き、日頃の

煙が身体に及ぼす影響などを説明頂き、禁煙に向けての具体的なアドバイスを頂きました。ステーション内の清掃やゴミ拾いなどを行い、5時間に渡る行動は終了となりました。

の休憩場所の確保が難しい」

ドライバーの過労死は他産業と比べ依然として高い水準にあります。2024年問題の課題は、荷物が滞る問題ではなく、過労死防止の観点で、改善基準告示や時間外労働の上限規制を遵守することが求められます。ドライバーの命と健康を守るためトラック部会は引き続き奮闘する決意です。

【神田支部 松崎 守男】

の食生活

直しの助

言や、喫

煙者に対

して、喫

【神田支部 松崎 守男】



大宮トラックステーションで行いました



医療生協さいたまのみなさん、ありがとうございました

東京都交渉 事業団・高齢者部会の要求について

7月29日（月）、東京都との交渉を行い17名が出席しました。本交渉は中央本部の全国統一要求基準を元に、毎年各業種が要求を追記した項目を掲げ行われています。事業団・高齢者部会は「高年齢者雇用安定法5条36条の趣旨に基づき、シルバー人材センターに『準ずる団体』の基準を作成し、援助・育成団体として優先発注の機会が与えられるよう施策を行うこと。2019年施行『都民の就労の支援に係る施策の推進とソーシャルファームの創設の促進に関する条例』に関し、就労困難者の中に働かなければ生活できない75歳以上の後期高齢者

者などが含まれるよう働きかけること。公園等の清掃・除草等維持管理委託の競争入札について公共工事設計労務単価や最低賃金がこの数年大幅に値上がりしているにも関わらず、賃金に反映されていない実態をふまえ、適正な賃金が労働者に支払われるよう公契約条例の制定及び最低制限価格制度の導入すること。」を求めました。東京都は、シルバー人材センターに準ずる規定については「他の地方公共団体の動向を注視している。」ソーシャルファーム条例の就労困難者に75歳以上の後期高齢者などを含むよう都への働きかけについては「後期高齢者に限らず、要件を満たしている事が確認できれば、就労困難者になりうる取り扱いをしている。」公契約条例制定及び最低制限価格制度導入については、「公契約条例制定は、賃金や労働条件は、最賃法や労基法等で下支えた上で、各企業において対等な労使間での交渉により自主的に決定されるべきもの。労働法制との整合性や入札契約制度の前提である公正性、競争性の確保等の面で導入は難しい。最低制限価格制度導入は、契約案件毎に多様な積算手法を活用しており一律に最低制限価格制度を導入することは現在予定していない。」と回答しています。【書記長 遠藤 晃】



会場の東京都庁第2庁舎会議室

【神田支部 松崎 守男】

生公連(生活関連公共事業推進連絡会議) 第43回定期総会開催

建交労や国土交通労組、建設首都圏共闘会議など官民の建設関係の労働組合で構成する生公連(生活関連公共事業推進連絡会議)は、10月13日(日)第43回定期総会を開催しました。今年担い手3法(建設業法、入契法、品確法)が改正され、現場労働者の労務費を国が標準労務費として定め、著しく低い契約が明らかとなった場合、営業停止などペナルティが課される事となり、現場での活用が期待されます。方針の提案を行った国土交通労組副執行委員長の笛田事務局長は「能登半島の災害から9ヶ月、建設労働者の人手不足により復旧が進んでいない。建設業の担い手確保のため、業法改正を有効性あるものにする必要がある。引き続き地域や諸団体と連携して運動を前進させたい。」と訴えました。生公連副議長の建交労中央本部廣瀬書記長は「災害大国日本で、大企業や富裕層優先の政治が長年行われてきた。国民のための建設産業を実現するために、建設労働者の立場からも政治を変えよ」と訴えました。



国土交通労働組合の王子会館で開催しました

【全国建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】うと訴える必要がある。官民共同の生公連運動が益々重要になっている、共に頑張りましょう！」と訴えました。

建交労第26回中央定期大会 8月31日(土)～9月2日(月)

建交労第26回定期大会が群馬県磯部温泉で開催され、新年度の方針・予算の確立、役員が選出されました。女性初の委員長として8年間務められた角田季代子さんが今期をもって退任され、新たに足立浩副委員長が委員長に新任されました。トラック部会の「物流の2024年問題」に対する労働時間短縮と賃上げを一体とした取り組み、学童保育部会の「学童保育所を見直し福祉施設に位置付けることを求める要請署名」のたたか



今期をもって退任された角田元執行委員長

「労務単価」を活かした統一単価闘争、軽貨物ユニオンの取り組み、事業団・高齢者部会やじん肺根絶闘争など、様々な業種別の運動が



建交労結成25周年レセプション

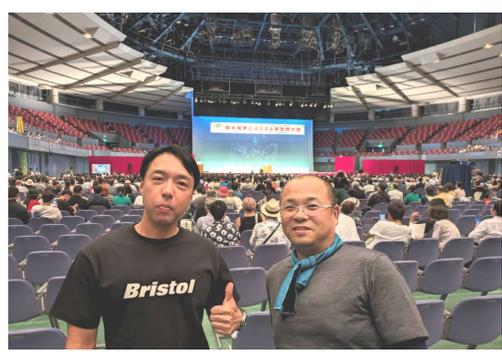
報告されました。大会初日の夜は、建交労結成25周年を記念してレセプションが開催され、全国の仲間と交流し団結を深めました。

被爆者とともに核兵器の無い世界へ 原水爆禁止2024年世界大会に参加して

「被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を、人類と地球の未来のために」をテーマに原水爆禁止2024年世界大会が広島、長崎で開催されました。建交労東京から関東支部石川さん、神田支部の吉田さん、松崎が参加しました。8月4日、開会総会が広島県立総合体育館グリーンアリーナで、会場参加3200名、オンライン800名の参加で開催されました。開会宣言からセッションIIの草根の運動交流が行われ、休会宣言で終了しました。5日、分科会「原発ゼロをめざして」に参加し、東京電力福島第一原発事故から13年経っても故郷に戻れない被災者が多数存在し、廃炉の見通しも立っていない現状、政府が推進する原発政策に被災者と連帯して原発ゼロをめざす取り組みについて交流しました。建交労全国交流会では、角田執行委員長の挨拶、広島黒い雨第2次訴訟原告団長の岡久郁子さんのお話しを聞き、全国22名の仲間と交流しました。6日、広島に原爆が投下されてから79年、8時から平和記念公園で広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式が行われました。荷物検査を受け、公園内で式典からの音声を聞き雰囲気を感じる事が出来ました。閉会総会は、会場3750名、オンライン1250名が参加しました。希望の光「核兵器禁止条約」を力に核兵器のない平和で公正な世界への道を切りひらくため、ただちに行動に立ち上がろうと訴える決議、広島からの呼びかけが採択されました。3日間で今までは違った平和への思いを感じる事が出来ました。参加させて頂きありがとうございます。被爆者若し世代とともに、未来を切りひらいて行きましょう。

【神田支部 松崎 守男】

【関東支部 石川 陽一】



石川陽一さん(写真左)、松崎守男さん(写真右)

組合掲示板

- 11月10日(日) 14時～東京地評青年協 東京ジャック in 池袋東口
- 11月 7日(木)～8日(金) 10時～建交労秋の中央行動/国交省前、ゼネコン要請
- 11月10日(日) 13時半～第10回はたらく女性の東京集会/エデュカス東京
- 11月16日(土)～17日(日) 第69回働く女性の中央集会 in 岩手
- 11月22日(金)～23日(土)～第37回日本高齢者大会 in 愛知
- 11月23日(土)～24日(日) 建交労中央本部25春闘討論集会/サンバレー富士見